

懐かしい遊びで★楽しく交流!

宍粟市ボランティアのつどい

宍粟市内で活躍するボランティア同士の交流を目的に、ボランティアのつどいを開催します。

講師に岩城敏之氏をお招きし、昔懐かしい遊びとレクリエーションで、楽しく交流します。

会員のみなさん、ぜひご参加ください。

講師 いわきとしゆき
岩城敏之 氏

絵本と玩具の店「キッズいわきばふ」代表
日本子どもの発達研究所講師
読売新聞子育て応援メンバー(子育てコラムの連載と講演)

活字文化推進会議講師

(財)出版文化産業振興財団(JPIC)読み

聞かせサポーター養成講師

子どもの遊びの環境や、玩具・絵本について、保育園・幼稚園・児童館などの職員研修や保護者向け講演の講師として、全国をとおまわっている。



日時 **3月14日(水)** 午後1時30分～午後3時30分
会場 **市民センター波賀(波賀町上野)**
対象 **宍粟市ボランティア連絡会会員
ボランティアセンター登録グループ**

■お問い合わせ：各支部

一緒に『点訳グループあい』から 点字を始めませんか

点訳グループあいは、本の点訳をはじめ、目の不自由な方々のコミュニケーションのお手伝いや福祉学習として学校で子どもたちに点字の指導など様々な活動をしています。

点字を習い、知識を身につけて、一緒に活動してみませんか。

興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。



毎月1回メンバーで集まり、福祉学習の打ち合わせや勉強会をしています

日時 **毎月第4土曜日** 午後1時30分～
会場 **宍粟防災センター 3F ボランティア室**

■お問い合わせ：山崎支部

伝えよう! 震災の経験と教訓を

1.17メモリアルウォーク2012

三宮東遊園地では宍粟から届けたたくさんの竹筒とロウソクがありました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



1月17日(火)

阪神淡路大震災から17年を迎えたこの日、神戸市で行われる1.17メモリアルウォークへ参加者を募り、宍粟から31名が参加しました。

震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐため毎年開催されているメモリアルウォークも今回で12回目。神戸市中央体育館を出発し、ゴール地点のHAT神戸までの5kmの道のりを参加者それぞれが当時を思い出し、また復興を感じながら歩きました。

三宮東遊園地では、全国から集まった約1万本の竹筒で『1.17』の文字が作られ、犠牲者を追悼。ゴール地点のHAT神戸では、追悼式典が行われ、1.17ひょうご安全の日宣言(右上参照)が読み上げられた。東日本大震災や台風12号災害にも触れ、阪神淡路大震災の教訓を伝えていくことの大切さを再確認しました。

1.17ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から17年が経った
私たちは日本と世界の多くの人たちに
地震を経験する前に教訓を知ってもらいたい 生かしてもらいたい
そのように願って 発信し続けてきた

阪神・淡路大震災は 活断層が起った内陸直下型だった
でも 私たちはもう一つの地震があることを知っていた
それはしばしば大津波を伴うプレート境界地震だ

3月11日に東日本大震災が起った
東北地方から関東地方にかけて
広い範囲での地震と津波
そして原子力事故による大きな被害をもたらした
2万人もの犠牲者・行方不明者 45万人を超える避難者が生まれ
人びとの生活と美しい国土が破壊され 大きな悲しみをもたらした

新燃岳の噴火や台風12号災害も起った
私たちは自然災害が多発し激化する時代に生きている
もうこれ以上 悲しい思い出を作らないようにしたい
それには災害文化をつくり 伝え そして備えて行動するしかない

伝えよう もっと伝えよう阪神・淡路大震災の教訓を
つぎの震災や津波 風水害 そして火山噴火や土砂災害に 備えて
震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから

2012年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議

(本部・一宮支部 田中祥仁)

読者の
感想より

一日ボランティア教室のロウソク作りに一度参加してみたかったです。とうとうその夢がかないました。大勢の方と一緒につくりました。(千種町 女性)